

グリーン 経営ニュース

Vol.40
2013 Winter



グリーン経営ニュースは、グリーン経営認証を取得された事業者の皆様へ、グリーン経営に関する情報、環境に関する法規制の情報などをご提供するものです。グリーン経営の推進にご活用ください。

グリーン経営認証トピックス

- 2013年度 グリーン経営認証リーダー研修会開催のご案内
- グリーン経営認証登録事業者専用ホームページのご案内
- [平成25年度エコドライブ活動コンクール]入賞者の発表です
- グリーン経営認証登録番号のお知らせ
- グリーン経営カレンダー2014年版できました!
- エコ通勤 優良事業所認証制度のご案内

事業者活動内容紹介

- (トラック) 株式会社首都圏物流
株式会社首都圏ロジスティクス
- (トラック) 西多摩運送株式会社

荷主の声

- 帝人物流 株式会社

環境トピックス

- 産業廃棄物処理委託先の現地確認用チェックリストの利用について
- 廃棄物処理法違反とならないようご注意ください!!
- グリーン経営に関するQ&A

グリーン経営認証登録状況

グリーン経営に関するお問合せ・ご相談はこちらまで
交通環境対策部：吉川、谷口、山田
電話 03-3221-7636 FAX 03-3221-6674



株式会社首都圏物流 株式会社首都圏ロジスティクス

事業者活動内容紹介 トラック



リーダー研修会 (平成 25 年 6 月 26 日 東京) 事例発表より

講演：株式会社首都圏ロジスティクス
第 5 業務推進部
次長 吉田保様



講演：株式会社首都圏物流
車輛管理課
課長 中村雅美様

会社概要 株式会社首都圏物流

本社所在地：東京都板橋区西台 3-8-11
代表取締役：駒形徳重
設立：昭和 63 年 7 月
資本金：3,600 万円
車両台数：211 台
従業員数：521 名
グリーン経営認証登録：平成 19 年 9 月
(相模原センター、西関東センター) ほか、長岡営業所、東北支店、管理本部、所沢センターで登録

会社概要 株式会社首都圏ロジスティクス

本社所在地：埼玉県さいたま市岩槻区大字浮谷 705-1
代表取締役：駒形徳重
設立：平成 3 年 3 月
資本金：1,000 万円
車両台数：131 台
従業員数：309 名
グリーン経営認証登録：平成 20 年 4 月
(茨城センター) ほか、千葉センター、木更津センター、本社事業所で登録

「グリーン経営認証」が浸透し、環境と経営に大きく貢献

両社で構成される首都圏物流グループは関東圏と東北、新潟に11拠点を構え、平成19年～20年にすべての拠点で「グリーン経営認証」を取得しました。本格的に環境活動を推進するため「環境保全推進委員会」を組織し、安全対策や品質管理に並んで同グループの重点活動に位置付けています。委員会の発足から現在に至る同グループの環境活動について、環境保全推進委員長の首都圏ロジスティクス第5業務推進部・吉田保次長、同委員の首都圏物流車輛管理課・中村雅美課長にお話を伺いました。

「環境保全推進委員会」を組織し認証取得を推進

地球温暖化や大気汚染が深刻化する中、地球環境を次世代に残すための環境保全活動が、物流企業の社会的責任と考えました。それには第三者による客観的評価を伴う仕組みが有効であるとして、平成19年にすべてのセンター・事業所において「グリーン経営認証」の取得を目指すことが役員会で決まりました。まずは「環境保全推進委員会」を発足させ取組みがスタートしましたが、最初は何から手を付ければよいかわからない状況でした。そこで「グリーン経営認証取得講習会」に参加し、認証取得に向けた具体的手法を知ることから始めました。講習会で学んだことを社内に展開させ、翌年までにセンター・事業所すべてで取得しました。現在は、今年3月に新設された山形センターでの取得を目指しています。



すべての事業所で取得

環境活動の基礎となる省燃費講習会



省燃費講習会を毎年開催

取組みの基礎として注力したのが、従業員に対する教育です。ドライバーはもちろん管理者にも、環境保全や「グリーン経営認証」について知ってもらうため、「省燃費講習会」を開催しました。ディーラーから講師を招き、トラック運送が環境に及ぼす悪影響やエコドライブ手法などを学習し、徐々に知識を身につけていきました。同講習会は平成19年から毎年開催しており、現在では従業員のほぼ全員が受講しています。

車両の点検の知識・技術を習得

重点項目

- ①タイヤの空気圧、亀裂
- ②ホイールナット緩み
- ③ブレーキの効き具合
- ④点灯機器類の確認
- ⑤オイル・水量の確認
- ⑥エレメント類の清掃点検と交換

車両の点検・整備に重点を置く



実車を用いて点検技術を身につける

省燃費講習会開催に合わせて、当社整備士が、車両を使いドライバー一人ひとりに点検・整備の方法を教えています。講習会でトラックの不具合による影響を学んだうえで、故障箇所の早期発見、エアエレメントの清掃方法、オイル交換方法など、身につけるべき技術を教えています。トラックに直接触れることで吸収も早いと考えています。また、中途採用のドライバーについては特に力を入れて教育しています。

「やればできる」ことを実感してほしい

講習会の前後に実際に運転させてその比較を数値として公表します。今年3月の講習会では、平均17.4%の燃費改善がみられました。ドライバーには、その数値をみて「やればできる」ことを実感してほしいと思っています。なおこの比較表では、エコドライブを10万km続けた場合の燃料費の削減効果を算出して伝えており、より強く感じてもらっています。

No.	氏名	区分	所用時間(分)		燃料消費量(L)		燃料消費率(km/L)		個人別改善率	10万km走行時比較		改善 メリット
			平常	省燃費	平常	省燃費	平常	省燃費		平常	省燃費	
1		64-72	07:11	10:52	0.371	0.282	11.32	14.89	24.0%	¥972,000	¥739,000	¥233,000
2		64-72	07:56	11:52	0.318	0.254	13.21	16.54	20.1%	¥833,000	¥665,000	¥168,000
3		64-72	09:26	09:35	0.397	0.307	10.58	13.68	22.7%	¥1,040,000	¥804,000	¥236,000
4		64-72	09:27	11:38	0.317	0.312	13.25	13.46	1.6%	¥830,000	¥817,000	¥13,000
5		64-72	08:42	10:06	0.383	0.270	10.97	15.56	29.5%	¥1,003,000	¥707,000	¥296,000
1		27-30	07:34	11:23	0.276	0.271	15.22	15.50	1.8%	¥723,000	¥710,000	¥13,000
2		27-30	07:06	10:11	0.366	0.266	11.48	15.79	27.3%	¥958,000	¥697,000	¥261,000
3		27-30	10:18	07:42	0.310	0.244	13.55	17.21	21.3%	¥812,000	¥639,000	¥173,000
4		27-30	08:33	11:11	0.346	0.272	12.14	15.44	21.4%	¥905,000	¥712,000	¥194,000
5		27-30	10:32	11:39	0.307	0.277	13.68	15.16	9.8%	¥804,000	¥726,000	¥78,000
6		27-30	10:53	11:23	0.320	0.301	13.13	13.95	5.9%	¥838,000	¥789,000	¥49,000
1	氏名	46-31	08:39	11:35	0.321	0.315	13.08	13.33	1.9%	¥841,000	¥825,000	¥16,000
2		46-31	08:08	10:18	0.334	0.289	12.57	14.53	13.5%	¥875,000	¥757,000	¥118,000
3		46-31	11:43	11:54	0.401	0.324	10.47	12.96	19.2%	¥1,051,000	¥849,000	¥202,000
4		46-31	08:51	10:09	0.370	0.323	11.35	13.00	12.7%	¥989,000	¥846,000	¥143,000
5		46-31	08:11	13:21	0.400	0.263	10.50	15.97	34.3%	¥1,048,000	¥689,000	¥359,000
6		46-31	08:14	11:48	0.390	0.323	10.77	13.00	17.2%	¥1,021,000	¥846,000	¥175,000
平均			08:54	10:59	0.349	0.288	12.05	14.59	17.4%	¥913,000	¥754,000	¥159,000
					平均改善率		17.4%					

燃費改善効果を数値、金額で比較

「愛車カード」の活用で燃費が向上、整備管理もスムーズに

各ドライバーに「愛車カード」を配付し、担当車両の管理をさせています。走行距離と給油量、燃費を記載して燃費の変動を常に把握し、自ら向上に導くことが狙いです。始めて4年が経過しますが、ドライバー同士が比較し合うことで競争心が芽生え、燃費向上につながっています。

またこのカードは、自主点検項目の点検表にもなっており、講習で学んだことを生かしてドライバー自身が点検を実施しています。カードは月に1度回収し、全員の作業実績を一覧表にしています。そうすることで、エアエレメントの清掃やオイル交換の実施状況が一目でわかるようになり、整備管理がスムーズになりました。

エコドライブコンテストでモチベーションアップ

エコドライブコンテストを開催し、ドライバーのモチベーションを高めています。当初は1ヵ月間の燃費改善率を評価基準としていましたが、回を重ねるごとに、「燃費以外の基準でも評価してほしい」



ドライバーのモチベーションも高まる

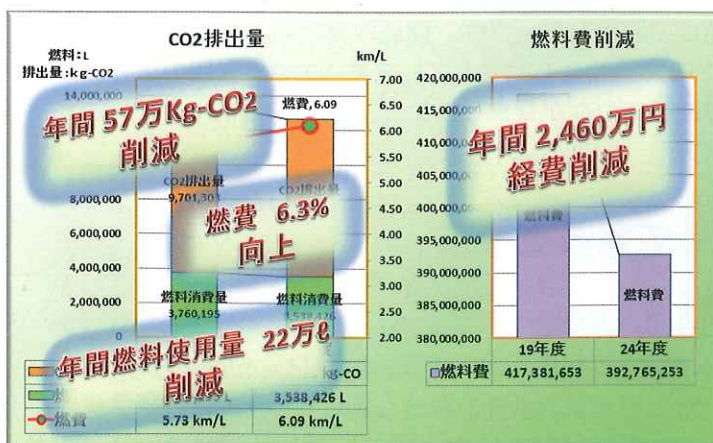
「センターごとに評価基準を設定したらどうか」という声

が寄せられるようになりました。そこで第5回目からは各センターで評価基準を決め、委員会がそれを承認して取組む方法を採用しました。あるセンターではデジタコのエンジン回転ヒストグラムから急加減速の程度を評価基準にして取組み、別のセンターでは燃費を評価基準とした取組みを行う、といった具合です。このように自らが考えた内容で取組むことでより取組み意識も強くなり、また、身近な仲間が競争相手となるため、モチベーションの向上につながりました。成績優秀者には褒章を授与しますが、経費以上の改善効果が期待できています。

	期間	対象	評価
第1回	1ヶ月	小型中型大型	前月からの改善率
第2回	1ヶ月	小型中型大型DPF車	前3ヶ月の平均燃費からの改善率
第3回	1ヶ月	小型中型大型DPF車増トン車	前3ヶ月の平均燃費からの改善率
第4回	1ヶ月	小型中型大型DPF車増トン車	前3ヶ月の平均燃費からの改善率
第5回	センター別(1ヶ月~3ヶ月)	小型中型大型DPF車増トン車	デジタコの経済評価
第6回	センター別(1ヶ月~3ヶ月)	小型中型大型DPF車増トン車	デジタコの経済評価

過去6回のエコドライブコンテストの概要

環境面と経営面で大きな成果



CO₂ 排出量、燃料に削減に大きな効果

こうした取組みを経て、平成24年度は取組み前と比較して全車種で燃費が向上し、平均で6.3%向上しました。CO₂の排出量では年間57万kg-CO₂の削減、燃料使用量では年間22万ℓ（金額で約2460万円）削減と、環境面と経営面に大きく貢献しました。

また、さらなる環境貢献として、大型ディーゼルトラックをCNG車に改造し、ディーゼル車比で約12%のCO₂削減を実現しています。ハイブリッド車やCNG車の導入計画も立てており、今後も少しでも環境に貢献できる会社経営を目指していきます。